

米国経済・株式市場情報

中国の米国債保有額が再び増加

中国による米国債の保有額増加が米国金利の動向に影響を与える可能性も

- ▶ 米国財務省発表の4月の対米証券投資統計において、中国の米国債保有残高が3ヵ月連続で増加。
- ▶ 資本流出や成長鈍化による人民元安、米国債売却による外貨準備高減少が一服。再び米国債購入で外貨準備高が増加傾向。利上げを進める米国の金利への影響も考えられる。

～ 中国の米国債保有残高が再び増加 ～

- 米国財務省発表の4月の対米証券投資統計によると、中国の米国債保有残高が4月までの3ヵ月間で411億ドル増加しました。保有残高は1兆922億ドルとなり、保有残高1位の日本（1兆1,069億ドル）に肩を並べる水準まで増加しました。中国の保有残高は、2013年10月頃をピークに減少傾向にありましたが、直近6ヵ月で最高水準まで残高が増加したことから、リーマン・ショック以降一昨年ごろまでみられた傾向と同様に、中国が再び米国債を積極的に購入し始めたとの観測がはじまっています。米国債購入に伴い、中国の外貨準備高も減少が止まり上昇傾向となっています（図表1）。

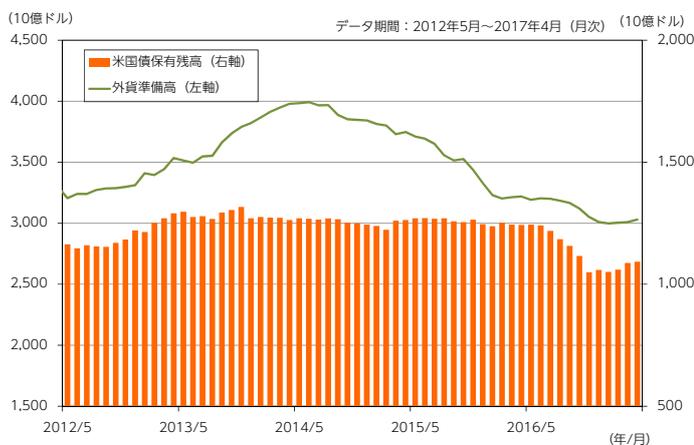
～ 資本流出や成長鈍化による人民元安が一服し外貨準備高が増加 ～

- 中国の外貨準備高はここ数年減少傾向にありました。経済成長の鈍化を背景とした資本流出などによる人民元安が原因であると見られてきました。政府は資本流出による自国通貨下落防止やトランプ政権誕生後は貿易黒字拡大のために意図的に人民元安を誘導する「為替操作国」とのレッテルを貼られることを避けるため為替介入を行ったと見られ、保有米国債と外貨準備高は減少傾向にありました。しかし、今年に入ってから企業利益の底打ちなど中国経済の明るい見通しや資本流出抑制政策などより人民元は反発し、安定的に推移しています（図表2）。また、直近では対ドル取引の目安を示す基準値の算出方法変更などを行い、人民元の価格をより安定させ外貨準備高を積み上げやすい環境を整えているように思われます。

～ 中国による米国債保有額増加は、利上げを進める米国金利へ影響か ～

- 再び米国債の購入を進める中国の今後の購入計画は不明ですが、米国は6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において3月に続き今年2度目の利上げを決定し、また今年中に保有資産の圧縮を開始する計画を発表しました。金融政策正常化へ向けて動き出している米国にとっては、中国の米国債購入は金利の押し下げ要因として影響を及ぼすことも想定されます。なお、中国の米国債購入の影響もあり、“当面、金利はそれ程上昇しない”という見方が広がれば、史上最高値を更新し、一部で指摘されている米国株式市場の割高感が後退することも考えられます。

図表1：中国の米国債保有残高と外貨準備高



出所) 米国財務省の対米証券投資統計およびブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

図表2：ドル/人民元と米国10年国債金利の推移



出所) ブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会